

後期高齢者の外来診療のイメージ

慢性疾患を有している後期高齢者の特性

- ・複数の疾患を有している者が多い
 - ・認知機能が低下している者が、若人よりも多い
 - ・介護を必要とする者が多く、リスクが高い
 - ・合併症の発症及び重症化のリスクが高い
- 等

左記のような特性を有している。

定期的な検査及び総合的な評価

(定期的・総合的に評価を行い、結果を療養及び生活指導で活用する)

- 定期的な検査(年2回程度)
 - ・血液検査(血球数、アルブミン値等)
 - ・尿検査(尿糖、尿蛋白等)
 - ・心電図検査
 - ・胸部レントゲン検査
 - ・眼底検査等
- 総合的な評価(年1回程度)
 - ・基本的な日常生活の能力
 - ・認知機能
 - ・意欲
 - ・情緒や気分等

<質問事項等の例>

- ・「普段、ひと駅離れた町へどうやって行きますか？」
 - ・「これから言う言葉を繰り返してください。」
 - ・診察時に被験者の挨拶を待つ
 - ・「自分1人でトイレに行けますか？」
- 等

本人・家族・医師・歯科医師・薬剤師
看護師・介護福祉士等で情報を共有

他の医療機関への紹介 (専門的な診療が必要な場合)

- ・合併症等の診断や治療
 - ・専門的な検査や治療
- 等

検査及び評価を踏まえた診療

- ・口腔ケアについて相談
 - ・服薬状況を確認し、家族等とも連絡をとって、服薬支援措置を工夫
- 等

地域包括支援センター等へ連絡 介護予防等での取り組み

- ・栄養、食事の内容の変更(低栄養状態の改善)
- 等

紹介

情報提供

情報提供

情報提供

地域包括支援センターの活用

